

1. 大学で数学を学ぼうと思ったきっかけは何でしょうか。
高校から数学が好きになり、また将来、数学の教員になることを考えていたので、数学をより専門的に学びたいと思ったことです。
2. 理学部第二部を選んだきっかけは何でしょうか。
学費の安さと夜間学部でありながら専門的なことをきちんと学べることから親の家計負担のことも考え理学部第二部を選びました。
3. 夜間部に在籍して、得をしたこと、良かったこと、困ったこと、苦労したことなどありましたら教えてください。
夜間学部だったこともあり、昼間の時間を勉強やバイトなどの時間に充てることができたこと、非常に幅広い年代の方がいらっしやっただので、自分の知らない職業のことや就職後のことについて同じ学年の社会人の人から聞くことができたのは非常に良かったと思います。一方で、夜に授業があるため、塾講師をしようと考えている場合は少し制限がある点は困る可能性があることと夜型の生活に慣れるまでが最初は苦労しました。
4. アルバイトはされていましてでしょうか。されていた場合、大よその業種や勤務時間帯を教えてください。
私は理科大内にある博物館でアルバイトをしていました。学内にあるので、勤務時間は朝 10 時～16 時（授業が始まる前）までで週に 3 日行っていました。
5. アルバイトをされていた場合、アルバイトと学業の両立は難しくなかったですか。苦労されたことなどありましたら教えてください。
最初は、勉強時間の確保をどう行っていくのかで非常に悩みました。私が行っていたアルバイトの職種は少し特殊ですが、慣れれば学業との両立はそれほど難しくなかったです。
6. 大体で構いませんので、大学 1, 2 回生の頃の一日のライフスタイルを教えてください。
大学 1 年の時も大学 2 年の時もライフスタイルとしては以下の通りでした。（夜間学部の学生からすると少し参考になるか分かりませんが...）
8 時：起床→10 時：大学到着→授業前まで：バイトもしくは予習・復習や課題取り組み→16 時 10 分～21 時 10 分：授業→授業後 22 時 30 分まで：部活→1 時：就寝

7. 学部で佐藤研究室（代数学研究室）を志望した理由をお聞かせください。
学部1年の時から代数学の授業が楽しかったことと、高校生の頃に5次方程式の解が解の公式で得られない場合があることを知りそれ以来、代数学を専門として学びたいと思っていたから。
8. 大学院の専攻と、現在の専門を教えてください。また、どうしてその分野に興味を持たれたのでしょうか。
大学院の専攻は科学教育専攻で、専門としては数学教育になります。この分野に興味を持った理由は、数学の知識は学部時代にある程度得ていたものの教育に関することをほぼ知らない状態であったことと自分が高校生までの数学の授業に抱いた疑問を解決したいと思ったからです。
9. 大学院を目指されたきっかけは何でしょうか。また、大学院進学先をどのように選びましたか。
最初は、大学院に進学するつもりはありませんでした。ですが、親から「大学院行くんでしょ？」と言われたことをきっかけに学部では数学を4年間しっかり学び、大学院の2年間で教育をやろうと思いました。今の研究室を選んだのは、研究室の先生がしっかりと面倒を見てくださる先生で生徒指導が専門なのですが数学教育も見ているということを知っていたからです。
10. 大学院進学に向けてどのような勉強をしてきましたか。勉強の方法、時間、各年次ごとに学修した分野など、大まかで構いませんので教えてもらえると嬉しいです。
学部で学んでいた数学とは少し離れた分野であることと、私の研究室の先生が推薦入試でのみ学生をとる先生であったので、学部時代にこれといった勉強はしていません。推薦の基準を満たせるよう、専門科目の成績は上位の成績をとれるようにしていました。
推薦入試の仮合格発表が決まってから、今の研究テーマに関する基礎的な勉強を始めたという感じです。
11. これまでに読んだ専門分野に関する文献を教えてください。
卒研時代に読んだ文献としては
【1】河田敬義著 ホモロジー代数
院生時代（現在）読んだ文献としては
【1】田島充士著 「分かったつもり」のしくみを探る バフチンおよびヴィゴツキー理論の観点から

【2】 ヴィゴツキー著，柴田義松訳 新訳版 思考と言語

【3】 ケネス・J・ガーゲン，メアリー・ガーゲン著 現実はいつも対話から生まれる
などがあります。（読んだ文献がたくさんあるのでその一部を挙げています。）

1 2. 分からない問題が出てきたらどうしていますか.

基本的に数学に関するものであれば、分野に応じて関連する本をまずは読み理解の助けにしています。もし、本を読んでも理解できない時は、ネットで調べて理解できるものを探そうにしています。教育系に関するものは基本的にネットで調べることをまずは行っています。

1 3. いつも卒研ゼミの予習にはどのくらいの時間を掛けていますか. また、どのような方法で準備をしていましたか.

基本的には5日はかけています。卒研で扱う本は今までの基本を踏まえた上でさらに深い内容をやっていくので準備にはかなりの時間が必要になることが多かったです。準備の方法としては、まず定義を確認するところから始め、その次に定理等の証明について関連する本も用いながら準備を行いました。

1 4. 自分が行ったゼミの発表で一番印象深かったことは何ですか.

蛇の補題や5項補題の証明を完全にやり切った時です。自分の中でも定理の主張に関するイメージが主張の長さから薄ぼんやりとしかできず、不安もかなりありましたが、やり切ったことの達成感からかなり印象深かったです。また、大学院の推薦入試の際にも、その定理に関しての質問を受けたため、より印象深いものになりました。

1 5. ノートの準備，発表や板書の仕方工夫したことは何ですか.

兎にも角にも定義が重要になると思っていたので、準備の際は定義が何を言っているのかが分かるように準備を心がけました。また、文字の量が多いと板書でも見にくくなるため、言葉で表すことよりは記号などを用いて板書するよう意識していました。

1 6. この先，大学院ではどのような研究がしたいですか.

私の場合、数学とは少し離れた数学教育を専門としているので、教育寄りの話になりますが、『計算はできるけれども、なぜその過程で答えが得られるのか』についての研究を行いたいと考えています。（やや難しいかもしれませんが...）

17. 将来はどのような進路を考えていますか。
将来は、教員になることを進路としては考えています。もともと、大学に入る理由も教員になることを意識してのことだったので、学部時代の4年間も院生になってからもずっとこの進路で考えています。
18. 就職活動などで大学院を修了した方が学部卒より有利になると感じたことがありますか。あるとすればどのような点ですか。
最近あまり大学院を修了することで有利になるというのは耳にしなくなりましたが、それでもより深く考える力や専門分野に対する熱意などは学部卒よりも大学院卒の方が強いように感じます。
19. 大学院生として就職活動するにあたり、苦勞していることなどを教えてください。
私の場合、教員志望なので就職活動での苦勞というのは修士1年の段階では感じることはありません。ただ、研究しながら、教員採用試験に向けた準備もしないといけないので、研究と教員採用試験の準備とのバランスがなかなか取りにくいというのはあります。
20. 将来の進路先で、大学で学んだ数学を活かせることがあるとすればどのようなことでしょうか。
高校までの数学で扱ってきたことがどうして成り立つのか？というのは数学が好きな中学生や高校生への話題として活かせるのではないかと思います。また、数学はどうしても表立って目に見えるものではないと個人的には思っているので、具体的に日常生活のどのような場面で高校までの数学で学ぶ内容が活かされるのかというのは興味を引けるのではないかと考えています。(他にもまだまだ思いつくことはありますが、かなり長くなるのでこのくらいで。)
21. 尊敬する数学者、もしくは理想の数学者はいますか。その理由もお聞かせください。
私が尊敬する数学者は岡潔です。実は高校3年までこれといって数学者の名前を誰一人として知らなかった私が初めて知った数学者が岡潔でした。数学にものすごく熱中していて、その反面、苦勞も多く...そんな姿に心惹かれ、自分もできる限り数学に熱中したいと思うようになりました。そんなこともあってか、学部時代、自分の気の向くままに様々な分野の科目を履修し、取得単位数は数学の選択科目だけで70単位以上ありました。

- 2 2. これまで学修した数学で最も美しいと思う定理は何ですか。その理由もお聞かせください。
- 最も美しいと思うものはフェルマーの最終定理ですね。初めてあの定理を見た時はそんな馬鹿な！？って思って様々な値を入れて計算したのは今でもいい思い出です。2乗ならば成り立つものも多くあるのに、3乗になると成り立たなくなるというあの主張の妙な不思議さがある種美しさを醸し出しているのではないかと個人的には思っています。
- 2 3. これから大学で理学を学ぼうと考えている方々に、理科大の夜間部を勧めるとしたらどのようなところでしょうか。もしくは、こうすればもっと理科大の夜間部が良くなりそうだと思うようなところがありますか。
- 働きながらも学べる点ともし興味があれば昼間の授業を履修できる点、それと学費の安さですね。昼間の授業は3年以降に申請すれば履修可能で私も10単位ほど履修していました。
- 夜間部が良くなりそうだと思うところは、授業内容の充実化ですかね。授業コマ数が昼間と違って少ないので、なかなか内容を充実させるのが難しいのは分かっているのですが、必修科目でこの内容を扱わないのは...後々困るなというのを感じたことも何度かありました。
- 2 4. (後輩たちに一言) 佐藤研(代数学・位相数学系)で卒業研究に配属を希望している方への心構えやアドバイスなどありましたら自由にお書きください。
- 代数学や位相数学を本気でやろうとしたら、思った以上には大変です。ですが、先生も分からない所は詳しく説明してくれますし、何より一緒にやる仲間がいます。仲間を頼れば、自分では考えつかないことを教えてくれるかもしれません。その点は大切にしてもらえたらと思います。
- また、分からないことをゼミの時に放置しないことが心構えとしては重要です。分からないものはゼミ発表の時に質問するなりしてなんとか解決した方がいいです。放置したら、それから先の内容の理解に自分が苦しむことになりますので。
- 2 5. その他。以上のほかに特記したいことがありましたら自由にお書きください。
- ・夜間学部だとどこまで専門的なことを学べるのか？ということ時々聞かれるのですが、基本的な内容はそこまで昼間学部と変わりません。その人の興味次第ではいくらでも学べると思います。
 - ・理科大のイメージとして、「進級するのが厳しい」というイメージをアルバイトをしていた時も良く耳にしましたが、普通に講義に出て、予習や復習、テスト前の勉

強をきちんと行っていれば、そんなに厳しいことはないと思います。(私が色々な人を見てきた限りでは。) なので、そこまで進級することに不安を抱かれることはないのかなと思います。

以 上